

事例1：京都市の修景助成制度

京都市では、市街地における景観の維持、向上を目指して、市街地の大部分を「美観地区」や「建造物修景地区」に指定し、地区内で建物の新築等を行う場合には、市長の承認や届出を必要としている。さらに、祇園町南など、歴史的な町並みを形づくっている地域については、重ねて、「歴史的景観保全修景地区」や「界わい景観整備地区」に指定し、景観上特に必要な建物の修理等の経費を補助するなどにより、望ましい景観への誘導を図っている。



京都市伝統的建造物群保存地区補助金交付規則（抜粋）

昭和51年11月9日

規則第112号(制定)

京都市伝統的建造物群保存地区補助金交付規則

(趣旨)

第1条 この規則は、京都市伝統的建造物群保存地区条例第10条の規定による補助金の交付に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規則において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 保存地区 文化財保護法第83条の2に規定する伝統的建造物群保存地区をいう。
- (2) 伝統的建造物群 文化財保護法第2条第1項第5号に規定する伝統的建造物群で保存地区内にあるものをいう。
- (3) 建築物等 建築物(建築基準法第2条第1号に規定する建築物をいう。)その他の工作物をいう。
- (4) 伝統的建造物 伝統的建造物群を構成している建築物等をいう。

(交付の対象)

第3条 補助金の交付の対象となる行為は、次の各号に掲げる行為とする。

- (1) 伝統的建造物の移転又はその外観に係る修繕、模様替え若しくは色彩の変更(その外観と密接な関連を有する部分の修繕及び模様替えを含む。)で、伝統的建造物群の特性を維持するため特に必要と認められるもの
- (2) 伝統的建造物の増築又は改築で、伝統的建造物群の特性を維持するため特に必要と認められるもの
- (3) 保存地区内における伝統的建造物以外の建築物等の新築、増築、改築、移転若しくは除却又はその外観に係る修繕、模様替え若しくは色彩の変更(その外観と密接な関連を有する部分の修繕及び模様替えを含む。)で、当該保存地区の歴史的風致を維持するため特に必要と認められるもの
- (4) 伝統的建造物群と一体を成す環境を保存するため特に必要と認められる物件の復旧
- (5) 保存地区内にある建築物等の管理のために必要な防災設備、標識、説明板その他の施設又は設備の設置、修理又は改善で、当該保存地区の保存のため特に必要と認められるもの
- (6) 前各号に掲げるもののほか、保存地区の保存のため特に必要と認められる行為

(補助金の額)

第4条 補助金の額は、前条に規定する行為に要する費用の額に、同条第1号、第4号又は第5号に掲げる行為にあつては5分の4、同条第2号、第3号又は第6号に掲げる行為にあつては3分の2(市長が特に必要があると認めるときは、5分の4)を乗じて得た額の範囲内において別に定める額とする。

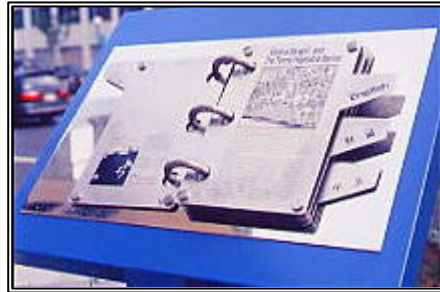
- 2 補助金の限度額は、1件につき6,000,000円とする。ただし、市長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

(以下略)

事例 2 : 大阪市内・曾根崎通りにおける外国人対応

大阪「曾根崎通り」では、外国人対応のための多言語による案内標識を設置している。

- ・わかりやすい形状と多言語表記の標識



- ・その地域の歴史的由来などを4カ国語で解説した案内板

- ・四カ国語・音声標示板

事例 3 : 豊中市まちづくり支援課

豊中市では、市民が主体的に進めるまちづくり活動の初動期支援として、まちづくりの総合窓口となり、相談や情報提供、市民によるまちづくり組織に対する技術的、経済的支援などを行うため、「まちづくり支援課」を設置している。

<まちづくりの支援制度について>

- ・まちづくり支援課では、まちづくり条例に基づき、「まちづくり協議会」という地域のまちづくりの仕組みをつくり、その活動の成果として「まちづくり構想」を策定するまでの、まちづくり活動の初動期段階を支援している。

- まちづくり活動助成
「まちづくり研究会」「まちづくり協議会」をつかって、地域のまちづくり活動に取り組む場合、その活動費用の一部を助成します。
：助成内容：
まちづくり活動にかかる費用の合計額の3/4以内。
まちづくり研究会は、年30万円を限度に2年以内。
まちづくり協議会は、年150万円を限度に3年以内。
- まちづくりアドバイザー派遣
まちづくりの議論が進む中でぶつかる問題や疑問などに対して、「まちづくりアドバイザー」を派遣し、助言します。アドバイザーは各分野のコンサルタントやプランナーなどの専門家をお願いしています。
- まちづくりコンサルタント派遣
専門家が継続して参加し、まちづくり構想の作成や手法・制度の調査研究などを支援する必要がある場合、専門家を「まちづくりコンサルタント」として派遣します。
- まちづくりの総合相談
地域のまちづくりや、まちづくり活動の進め方など、「まちづくりの初動期」の問題について相談を受けます。
- まちづくり支援チーム
まちづくりの総合相談を経て、地域で活動をはじめようとする場合、活動の進め方、まちづくりの課題について「まちづくり支援チーム」を派遣し、議論づくりを支援します。支援チームは、市のまちづくり担当の各分野の職員でつくられています。
- 「まちづくり条例」によって認定された、市民主体のまちづくり組織
 - ・豊中駅前まちづくり推進協議会
平成7年6月に「まちづくり構想」を市長に提案。交通混雑の解消と安全な歩行者空間の確保を目標に活動を行っています。
 - ・おかまち・まちづくり協議会
平成9年7月、「まちづくり構想」を市長に提案、音声誘導・案内システムやタウンモビリティなど、だれにでもやさしく歩きやすい通りづくりの検討のほか、まちの特性である歴史・文化をいかしたまちづくりに取り組んでいます。
 - ・まちづくり研究会そね21の会
平成9年11月、まちづくり条例に基づく研究会となり、「道路交通」「駅前商業」「住環境」を中心テーマに活動を展開しています。

事例 4 : 「インフィオーラータ」(神戸市)

インフィオーラータとは、イタリア語で「花を敷き詰める」を意味する。この祭りは、道路や広場などに花びらを敷き、絵模様を描くイタリアの祭りが名前の発端となっている。

神戸では、1997年から三ノ宮東地域から市内各地で「観光」「まちづくり」「環境」などの視点から「インフィオーラータこうべ」を開催している。

主催は、インフィオーラータこうべ「北野坂」実行委員会(北野町1・2丁目自治会、北野町)の花の制作には、のべ1600名(平成14年度)の市民が参加するなど、市民参加型のイベントとして実施。また、使用する花びらは、チューリップ栽培で有名な富山県砺波市、新潟県亀田郷から提供されている。球根栽培の産地では、球根に栄養をまわすために、4月下旬にチューリップを摘んでしまうため、その花の部分を利用して巨大な花の絵を描いている。

『花の降るまち神戸 インフィオーラータこうべ2002』開催状況

開催期間：4月20日～5月6日 開催場所：三宮東、北野坂など市内4か所



ワールドカップ開催にちなんだ
デザイン (三宮東)



PR用ポスター (北野坂)

事例5：北海道・恵庭市におけるガーデンシティづくり

北海道恵庭市では、平成2年、市制施行20周年を記念して、「まちに緑を窓辺に花を」をテーマとしたまちづくりをスタート。毎年、6月下旬～7月上旬に開催し、第9回目となる平成10年からは「花のまちづくりプラン」に基づき、新しい情報を発信し、暮らしの中に花を通じて心の豊かさを感じられるイベントとすることを目的にテーマを「花もよし、風もよし、人もよし。ここが恵庭。」に変更、事業を推進している。

花のまちづくりプランの概要（平成10年11月17日発足）

・基本的な考え方

身近な自然環境や地域の歴史・文化を大切にして、花や緑をはぐくみ、その力を借りて、快適で質の高い生活と美しい地域の風景をつくりながら、まちを発展させていく

・推進体制

花のまちづくり推進会議（事務局 市役所花と緑の課）

・事業概要

- 花のまちづくりの啓発普及
- 花のまちづくりとネットワークの形成
- 恵庭・花と暮らし展等、花に関するイベントの企画開催
- 花のまちづくりの研修及び指導者の育成
- その他の目的達成のために必要な事業



< 市内各地での花のまちづくり >

- 遊ingロード - 漁(いざり)街商店街

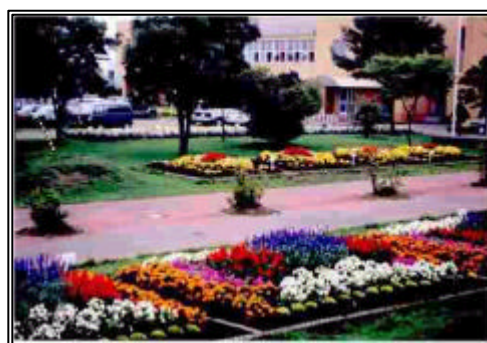
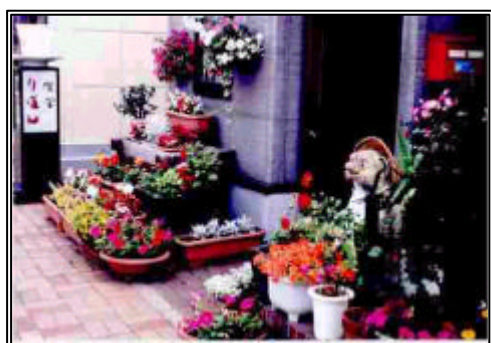
店主たちが敷地の一部を提供したりして積極的に「花のまちづくり」に取り組み、花のまちコンクールで全国2位を受賞

- サッポロビール工場 -

「花のまちコンクール」で全国1位に輝いた、美しい庭園がある。

- 恵み野地区 -

そこに住む人々が大切に育んだ美しい花に彩られ、平成9年に「全国花のまちづくりコンクール」で建設大臣賞を受賞したガーデニングの盛んな住宅地。



事例 6：三重県における住民参加「まちかど博物館」

と「伊賀のたからもの100選」

『まちかど博物館』

三重県では、地域の方が永年培った技への思いや、コレクションへのこだわりと地域への思いを伝えるため、「まちかど博物館」制度を設けている。

まちかど博物館は、いままでの「博物館」のイメージにとらわれることなく、仕事場の一角や個人のお宅などで、「館長さん」の語りとともに見ることができるもの。いわゆる観光施設ではなく、あくまで館長の生活の場、仕事の間を公開していただくものとしてPRしている。

<伊賀まちかど博物館>

平成12年3月に開館した「伊賀まちかど博物館」は全部で91館。貴重なコレクションのほか、伊賀焼などの手仕事、この地域ならではの歴史や技術を見ることができる。

<三重のまんなか地域>

[津市・久居市・安芸郡・一志郡（三雲町を除く）] 11市町村内で、コレクションや手作り作品、めずらしい製造工程や製造技術、昆虫・植物の博物館など64の個性ある博物館がある。

<東紀州まちかど博物館>

東紀州地域8市町村内で、山野草などの植物コレクションをはじめ、炭焼き、干物作りなどの地場産業、趣味の手工芸、コレクションなど、東紀州の魅力に満ちた90館の博物館がある。



『伊賀のたからもの100選』

地域のたからもの（名所、食べ物、年中行事、人物、音など）を一般から募集し、それらを紹介するパンフレットの作成や各種イベントを実施することで、「伊賀らしさ」を見つめ直し、伊賀に愛着をもってもらうための取り組みをおこなっている。

平成14年には、名張市において、「伊賀のたからもの100選」を見て、聞いて、食べてとじかに体験するイベント「伊賀びとごっこ」を開催。「伊賀のおもしろい話」「伊賀のうまいもん」「まちかどめぐりツアー」などそれぞれのジャンルで選ばれた「たからもの」で伊賀の魅力再発見をおこなっている。

事例7：ふるさとの都・夢づくり協議会

「ふるさとの都・夢づくり協議会」は、大阪水都再生を目指し、大阪淀川市民マラソン・日本フィーエルヤッペン協会などをはじめ、市民による様々な企画を運営しているNPO。

< 関連イベント >

- ・道頓堀川大水泳大会（2004年8月8日開催予定）
道頓堀川の浄化を考えたイベント。「はたしてそれまでに道頓堀川泳げるほど、きれいになっているか、水環境を考え、大阪の川の活性化を目指して「道頓堀で泳ごうや〜！」
- ・道頓堀を浄化するイケチョウ貝を2月9日道頓堀川へ入植
水都再生基金にて、イケチョウ貝のオーナーを募集し、水質改善をねらって道頓堀川に貝を入植。
- ・40人乗り水陸両用バス（かっぱ1号）を利用し、国土交通省近畿地方整備局・近畿運輸局、大阪市役所、大阪府庁への表敬訪問などPR活動を実施。
- ・その他、淀川市民マラソンやオランダの伝統的競技フィーエルヤッペンなどの実施や世界こども水フォーラム・イン・大阪の開催などを通して、水都大阪の再生のためのPR活動を実施。



事例8：スルッとKANSAIにおける「ワーキング」チーム

スルッとKANSAI協議会は、スルッとKANSAI導入各社局利用者の利便性の向上を促進するとともに、公共交通機関として一体性のある運輸事業の健全な発展を図るために、平成8年12月に発足し、平成14年4月現在で、39の鉄道、バス事業者が加盟している。

< スルッとKANSAI協議会の主な活動内容 >

- スルッとKANSAIカードの共同販売促進プロモーション
(「スルッとKANSAI」とは、関西の鉄道・バスを1枚のプリペイドカードで交通機関の違いを意識することなく、そのまま乗り降りできる共通ストアードフェアシステム)
- 企画乗車券の発売
スルッとKANSAIエリアが、5,000円で3日間乗り放題のフリーチケットなどの発売
- 資機材の共同購入
定期券券紙、まくらぎ、レールからステッカーまで幅広く共同で購入し、大幅なコストダウンを図る
- 鉄道・バスのオリジナル商品の開発・販売 等

スルッとKANSAI協議会では、以上の事業を推進していくため、各事業毎に、参加各社からのメンバーからなる「ワーキング」チームを構成。事業の発想から、展開、実施にいたるまで、このワーキングチームが中心となって事業を実施している。

社員数は6名と小規模ながら、各社の関連メンバーがワーキングチームとして事業を進めていくため、実質は数十名のスタッフが実働しているのと同様の成果をあげている。

事例 9：長浜市の「黒壁」

明治33年に百三十銀行として建てられた、洋風で土蔵造り黒壁本館（1号館）の建物は、市民からは「黒壁銀行」の愛称で親しまれてきた。昭和62年、市民の保存を望む声により、商店街の活性化に寄与する形での保存ということで、中堅実業家7人と市・地元企業も加わった第3セクター形式で「株式会社黒壁」を設立。

<「黒壁」の事業内容>

- ・国内ガラス工芸品の展示販売
- ・海外アートガラス輸入、蒐集、展示販売
- ・ガラス工房運営、オリジナルガラス制作販売
- ・食堂喫茶の運営
- ・ガラス文化に関する調査研究、イベントの企画運営
- ・まちづくり文化に関する情報、資料収集、提供
- ・国際交流に関する業務（関連会社バイリンガルジャパン）
- ・旅行業



黒壁パスポート加盟店

利用促進のため、黒壁グループおよび協力店で共通して使えるパスポート券などを発行。

平成元年に営業を開始。初年度の入館者は10万人弱、その後順調に数をのばし、平成7年度には167万人、平成13年度は202万人が入館、うち8割以上が県外客で若い女性のリピーターが目立っている。

長浜市では、第3セクター形式の「黒壁」がうまく軌道に乗った背景は、

- ・事業経営のスペシャリストたちが集まって率先して出資したこと
- ・多くの企業が企業メセナの形で協力を惜しまなかったこと
- ・市や他の企業も出資協力で支援を行ったこと
- ・旧家を貸す人・市民全体や個人など、市民ぐるみの支援がなされてきたこと

など、「ナショナルトラストまちづくり版」ともいえる取り組みがなされてきたことにあると分析している。

事例 10：摩耶ケーブル&ロープウェイ山上施設

六甲摩耶鉄道は、1995年の阪神淡路大震災の被害により、運休していた摩耶ケーブルを、神戸市都市整備公社に無償譲渡。2000年6月より、復旧工事が開始され、2001年3月17日に営業を開始。

神戸市内の小中学生に一般公募した愛称「まやビューライン夢散歩」とカラフルな原画に彩られたケーブルカーやロープウェイを乗り継いで摩耶山上への空中散歩が楽しめる。



<六甲山上の関連施設>

- ・六甲山牧場、神戸チーズ館
- ・国民宿舎・神戸摩耶ロッジ「ホテル・ド・摩耶」
- ・六甲山高山植物園
- ・神戸市立森林植物園
- ・ホール・オブ・ホールズ六甲

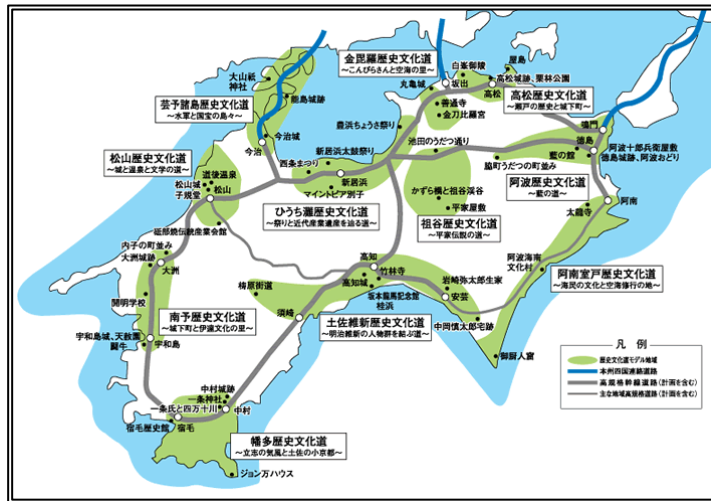
事例 1 1 : 四国における遍路道「歴史文化道」の整備

四国では、観光客など、四国を訪れる方々に「四国霊場八十八カ所」や「阿波おどり」など四国の歴史・文化に触れていただくための仕組みづくりとして「歴史文化道」の整備に官民が一体となって取り組んでいる。

・推進体制：「歴史文化道協議会」

四国地方整備局、四国運輸局、日本郵政公社四国支社、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、日本道路公団四国支社、四国経済連合会、徳島県商工会議所連合会、香川県商工会議所連合会、愛媛県商工会議所連合会、高知県商工会議所連合会、四国電力（株）、四国旅客鉄道（株）

・エリア（協議会HPより）



・事業概要：四国各地域に点在する歴史的文化遺産を結ぶ道路網等の整備

1 1 のモデルコースの設定・PRと語り部の紹介

（高松 / 金毘羅 / 土佐維新 / 幡多 / 阿波 / 阿南室戸 / 祖谷 / ひうち灘 / 芸予諸島 / 松山 / 南予）

事例 1 2 : 奈良県榛原町における農山村まるごとウォーク&収穫体験

奈良県では、地域の歴史文化とあわせて、自然を体感してもらう取り組みとして「農山村まるごとウォーク&収穫体験」を実施している。

主催は、奈良県や関連市町村、近畿農政局などで構成する「農山村まるごとウォーク&収穫体験実行委員会」。歴史文化をめぐるウォークに、地域の特産品や農作物の収穫体験、杉の葉染め体験などをあわせて、その地域全体の魅力をアピールするイベントを3町（大宇陀町、榛原町、菟田野町）が連携して実施。



事例 13：泉州ミュージアムネットワーク

大阪南部、泉州地域から和歌山県にある公立・私立の美術館・博物館・資料館が集まり、「泉州ミュージアムネットワーク」が平成8年12月12日に結成された。

発足当初は、堺や岸和田など6市町村の21館だったが、和歌山市内の博物館や美術館が参加するなど、平成14年現在、38館がネットワークに参加している。「泉州ミュージアム・ネットワーク」は、地域のミュージアムが連帯してネットワークを結ぶ試みとして全国に紹介され、その後、各地にミュージアム・ネットワークが結成されるきっかけとなっている。

< ネットワーク参加施設 >

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1 堺市博物館 | 18 貝塚市立自然遊学館 |
| 2 自転車博物館サイクルセンター | 19 摂河泉文庫資料室 |
| 3 小谷城郷土館 | 20 貝塚市立善兵衛ランド |
| 4 大阪府立泉北考古資料館 | 21 歴史館いずみさの |
| 5 堺市立平和と人権資料館 | 22 みさき公園（自然動物園水族館） |
| 6 触松歴史資料館 | 23 古代史博物館
（泉南市埋蔵文化財センター） |
| 7 大阪ガス科学館 | 24 和歌山県立博物館 |
| 8 与謝野晶子文芸館&アルフォンス・ミュシャ&ギャラリー | 25 和歌山県立近代美術館 |
| 9 高石市立図書館郷土資料室 | 26 和歌山市立博物館 |
| 10 大阪府立弥生文化博物館 | 27 和歌山県立紀伊風土記の丘資料館 |
| 11 和泉市久保惣記念美術館 | 28 和歌山県立自然博物館 |
| 12 財団法人正木美術館 | 29 片男波公園万葉館 |
| 13 泉大津市立織編館 | 30 教科書資料館（平和人権子どもセンター） |
| 14 岸和田市立郷土資料館 | 31 重要文化財中家住宅 |
| 15 きしわだ自然資料館 | 32 泉佐野ふるさと町屋館 |
| 16 岸和田だんじり会館 | 33 愛らんどハウス |
| 17 貝塚市郷土資料館 | 34 いずみの国歴史館 |

< ネットワーク事業 >

・HPによる情報発信

・ガイドブックの発行



～泉州から和歌山へ、
ミュージアムの旅に出かけよう～
「南海沿線
泉南ミュージアムネットワーク」

事例 14 : かぎろひを魅せる会

奈良県大宇陀町では、柿本人麻呂がうたった「ひむがしの野にかぎろひのたつみえて...」で有名な「かぎろひ」の現象が観察されている。「かぎろひを魅せる会」では、この町特有の自然現象を地域づくりの核としてとらえて活動をおこなっている。

「かぎろひを魅せる会」

- ・ 設立の経緯 : 商工会青年部のOBと有志が中心となり、町の歴史や自然に関心を持つ住民に呼びかけ、地域づくり活動を行うため結成。
- ・ 活動の目的 : 柿本人麻呂の「ひむがしの野にかぎろひの...」の歌に象徴される日本人ならではの自然感や自然に対する憧れを具現化する「心のふるさと」づくりをテーマとした活動を行う。
- ・ 主な活動内容 :
 - 町の歴史研究会、講演会の開催
 - 町の観光行事「かぎろひを観る会」へのイベント参加（コンサートの企画・運営）
 - 古い町並みをテーマとしたイベント企画・運営（「なつかしい町並みシンポジウム」等）
 - 写真集・絵はがき・ビデオなどの製作、販売

<平成14年度実施のイベント「かぎろひを観る会」実施状況>

開催日：平成14年12月20日（旧暦11月17日）

内容：・阿騎野朝市開店（地域物産展・特産品、うどん、ぜんざい他）

・『笛曼陀羅コンサート』

・『かぎろひを観る会』開会（午前5時10分）

- 森村健一氏（日本考古学協会会員）による「かぎろひ」の講演

中央公民館：壁画『阿騎野の朝』特別公開

葛湯・芋汁サービスの実施

事例 15：奈良における夜の演出

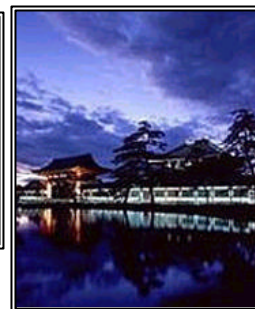
ライトアップ・プロムナード・なら

奈良県、奈良市など18団体で構成する実行委員会が、奈良公園一帯の夜の魅力を高め、観光客を誘致する目的で、1988年から毎年実施。

<平成14年度の事業内容>

ライトアッププロムナード・なら2002は「古都・夢灯り」をテーマに、7月1日～10月31日の期間、世界遺産に指定されている興福寺や東大寺などをはじめとする歴史的建造物、11箇所がライトアップされた。

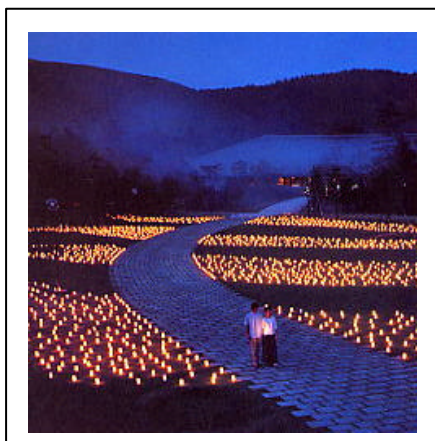
1. 猿沢池
2. 興福寺 五重塔
3. 春日大社 一鳥居
4. 奈良国立博物館本館
5. 浮見堂
6. 円窓亭
7. 仏教美術資料研究センター
8. 東大寺(大仏殿・中門・南大門)
9. 奈良県新公会堂
10. 平城宮朱雀門
11. 薬師寺



なら燈花会

平成11年から、ライトアップ事業とあわせて市民の手作りによる光のイベント「なら燈花会」を実施。開催期間は8月のお盆をフィナーレに約10日間。ろうそくを主とした灯りで奈良公園内の4つのエリアを幻想的な風景に演出している。

燈花会の運営をおこなっているのは、約140名の会員をもつ「なら燈花会の会」。市民主体のイベントとして、会員がボランティアとして参加し、燈花会の全体計画や広報などをおこなっている。あわせて、燈花会開催中には1300人以上のボランティアが集まり、カップ並べや、ろうそくの点灯をおこなっている。



事例 16：歴史街道 100キロマラソン

京都府丹後地域の市町村（網野町、久美浜町、弥栄町、丹後町）の連携事業で、日本海を望む雄大な自然環境の中、歴史や文化豊かな地域を走る「歴史街道 100キロマラソン」を実施。マスメディアへのPRなどもおこない、全国各地からの参加者がつどう、地域PRの一大イベントとなっている。

<平成13年度実施状況>

開催日：平成13年9月16日（日）

種目：100キロコース

網野北小学校スタート（弥栄町役場前） 碓高原総合牧場（北上・丹後町へ）（丹後町役場前）（網野町）（久美浜町） 久見浜湾 網野北小学校

60キロコース



事例 17：東海道 400 年記念事業

1601年、東海道に宿駅制度が創設。2001年、400周年を記念して静岡県をはじめ、神奈川県、三重県などで記念事業が実施された。

< 静岡県での記念事業 >

県内各地で300を超えるエントリーイベントと、5つのシンボルイベントを実施。これらのイベントは、静岡県の公式ページ「東海道四〇〇年祭ドットコム」をはじめ、市町村や民間企業など参加団体のHPなどで情報発信。

・シンボルイベント

- 「東海道大宿場まつり」
- 「祝祭劇 佐久夜」（市川猿之助氏演出）の上演
- 「ゆめの宿場町」（江戸時代の宿場町風情を再現。見て、食べて、体験できるイベント） など

・エントリーイベント

静岡県東海道四〇〇年祭実行委員会の呼び掛けにこたえ、多くの方が仲間を集め応募して行われたイベント（お祭り、芸能、ウォーキング、講演会など）

< 神奈川県での記念事業 >

神奈川県博物館協会が中心となって加盟館同士で相互協力を図り、東海道400年記念事業として展覧会を実施。

あわせて、東海道宿駅制度400周年を記念し、神奈川県内の19の博物館を巡る、東海道スタンプラリー、クイズラリーを行った。

また、神奈川県立歴史博物館、横浜市歴史博物館、横浜開港資料館、川崎市市民ミュージアムの4館では「東海道宿駅制度400年 特別割引」を実施した。

< 三重県での記念事業 >

三重県では、街道ウォークを中心に「東海道400年祭・inみえ」の実施



三重県内桑名から坂下まで約45キロの街道沿いの名所旧跡などを紹介する街道マップを作成し、関連各地でウォークを開催。

三重県HPより

事例 18：彦根 36 時間計画

2000 年度の彦根市観光キャンペーンを実施するにあたって、首都圏からの誘客を目的としたキャンペーンのテーマ。

新幹線を利用して出発し、彦根に一泊して 36 時間後には東京に戻ることを想定。その時間内で楽しむことのできる「観光地」としてキャンペーンを展開。

事例 19：「京都館」(赤坂)の活動

東京都港区赤坂にある「京都館」は、京都市と株式会社京都産業振興センター（運営主体）、および京都の企業・団体などで創る京都情報の受発信拠点である。「産業振興」「観光客誘致」を目的に「知ってもらう」「見ってもらう」「体験してもらう」「来てもらう」の 4 つの観点から情報発信をおこなっている。

「知ってもらう」：基本情報の発信

- ベーシックインフォメーションの提供
- 京都三大祭（葵祭・祇園祭・時代祭）等の強力キャンペーン ほか
- 三大祭に関するイベントの実施

「見ってもらう」：マルチメディアの活用

- 観光文化情報システム（タッチパネル）とホームページの開設

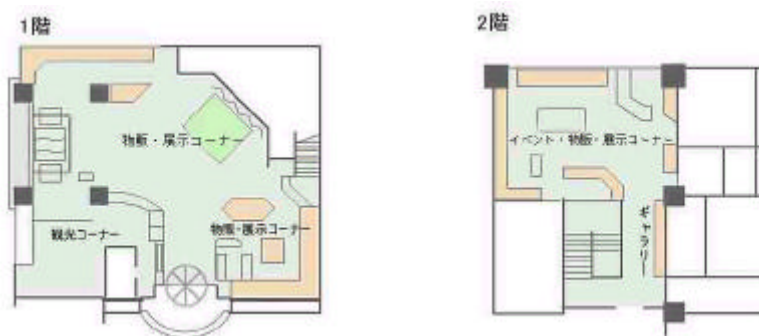
「体験してもらう」：イベントとの連動

- 物販イベントと連動した、西陣織・伝統工芸等の製作を体験。
- 京都工房ツアーへの誘致
- 工芸教室（西陣織・着付教室）の実施と連動した京都文化体験と京都への卒業旅行

「来てもらう」：ハイグレード・オリジナル・ツアーの実施

- 知的要求を満足させてくれる旅
- 体験型ツアー・長期滞在型ツアーの販売
- 内外のトラベルエージェント等との交流

< 館内案内図 >



また、観光情報だけにとどまらず、交通機関の発券、宿泊箇所の手配や旅行商品の販売、修学旅行の相談など、地域情報を発信していくためのあらゆる機能を供えている。

（サービス例：交通・宿泊・食事・土産・イベント等の観光情報の提供 / JR 券の発券、葵祭・祇園祭・時代祭の観覧席券の販売、旅館・ホテル等の手配 / オリジナル旅行商品の企画・販売 / 修学旅行の相談）

事例 20 : ドイツロマンチック街道の海外広報

ドイツロマンチック街道は、メイン川からアルプスまで続く 350 km の観光ルート。

第二次世界大戦後、ドイツの多くの都市は焼け野原と化した。当時のアウグスブルク市長は、比較的大きな町の観光関係者やマスメディアを招聘、各都市が連携して観光を進めていく「ロマンチック街道」の原型となる構想を提起した。

ロマンチック街道協会の目標の一つは、当時、諸外国がドイツに対して抱いていた非常に悪いイメージを早急に変えること。戦争だけでなく、工業国のイメージが強く『「旅行」に行く場所』というイメージがわきにくいものであったため。

ドイツ観光局も、このロマンチック街道構想を利用し、ノイシュバンシュタイン城やローテンブルクの美しい街並みなどをポスターに掲載し、ドイツのイメージを「ロマンチック」なものとして売り込みをおこない、ドイツの国のイメージアップに利用した。

年間 500 万人もの宿泊客、1800 万人の観光客を呼ぶ「ロマンチック街道」の成功の要因の一つは、設立以来 50 年、同じ道、同じメンバーという変わることはない「ブランド品」をつくりあげたことにある。



事例 21 : 姫路フィルムコミッション

姫路市では2001年4月から、映画・TVの撮影ロケ等を支援する組織として、市役所報道室を設置し、ロケの窓口を一元化するとともに、専任スタッフによるきめ細やかなサポートを行うため「姫路フィルムコミッション」を設立。姫路市のイメージアップを図ることを目的としている。

<内 容>

対 象 : 外国映画、国内映画、CMフィルム等のロケーション

支援内容 : ・ロケハン、リサーチなど制作に必要なすべての業務

- ・ 姫路城、好古園、姫路セントラルパーク、書写山円教寺などの施設や道路の使用許可など
- ・ 宿泊施設の斡旋
- ・ エキストラの確保
- ・ ボランティア通訳の斡旋

協力施設 :

姫路市役所本庁舎	姫路商工会議所
姫路城	姫路セントラルパーク
好古園	圓山記念日本工芸美術館
動物園	太陽公園
美術館	姫路シーサイドゴルフコース
姫路文学館	明珍火箸本舗
文化センター	灘菊酒造(株)
温室植物園	ダイセル異人館
緑の相談所	ダイセル化学工業(株)姫路製造所)
水族館	的形海水浴場
中央卸売市場	的形海水浴潮干狩観光共同組合)
総合スポーツ会館ほか所管のスポーツ施設	姫路港
ひめじ手柄山遊園	飾磨港:姫路港管理事務所)
公園施設全般	書写山円教寺
グリーンベルト全般	増位山随願寺
保健所	龜山御坊本徳寺
名古屋山霊苑	大覚寺
宿泊型児童館・星の子館	広峯神社
姫路科学館	魚吹八幡神社
自然観察の森	イーグレひめじ
みなとドーム	姫路工業大学
遊魚センター	姫路獨協大学
水の館	JR西日本旅客鉄道(株)姫路駅
園芸センター	山陽電気鉄道(株)姫路駅
美術工芸館	神姫バス(株)
野外活動センター各所	
書写山ロープウェイ	
木場ヨットハーバー	

ロケ実績 : 旅番組やコマーシャルフィルム、国内TV、国内外の映画ロケなど年間50本前後を誘致

・大河ドラマ 「武蔵 - M U S A S H I 」 - 2003年NHK大河ドラマ。

姫路城、書写山円教寺 1/19、2/9、2/16 20:00 ~ 20:45 NHK 全国

・映画「THE LAST SAMURAI 最後の侍」(主演 トム・クルーズ)

書写山円教寺 2004年正月公開 ワーナーブラザーズ 世界各国

・TVドラマ 「暴れん坊将軍 にわか殿様が仕掛けた罠！」

姫路城、好古園 7/29、8/26 19:00 ~ 19:54 テレビ朝日 全国

・台湾ケーブルテレビ 旅行案内 24時間旅行案内を流している中の1時間枠で日本の観光名所を紹介 姫路城 台湾 VOYAGE TV 台湾 ほか

事例 2 2 : 兵庫県における外客対策について

社団法人ひょうごツーリズム協会では、国際観光客（外国人観光客）の受け入れ拡大へ向けた各種施策を推進するため、国際観光客に対する多様な宿泊メニューの提供方策として、格調高い和風旅館を内外に広く示す「オーセンティック旅館」事業、ふれあいや個性的なサービスを提供できる民宿、ペンション、レストランをアピールする「フレンドリーイン、フレンドリーレストラン」事業を実施。

登録された施設を内外に広く示すとともに、観光客受け入れに関する研修の機会や情報の提供を行うことで、関係者の意識啓発と業界の活性化を図ることを目的としており、観光客や旅行エージェント、マスコミへの外国語による情報提供・発信を総合的に行う中核機関として「ひょうご観光客インフォメーションデスク（TID）」を開設（英語・中国語対応）している。

- サポート内容

- ・ ツーリズム協会のホームページ上での紹介（リンクも含む）
- ・ 在日韓国人コミュニティ、留学生、ファンクラブ登録者等への P R
- ・ 国際旅行見本市、内外旅行エージェント、マスコミ招聘時、観光関係機関等への P R
- ・ 多言語の館内表示、メニュー、館内利用説明書などを作成する際の翻訳への協力
- ・ 国際観光客とのコミュニケーションに困った場合の電話による通訳
- ・ 登録施設間の情報交換のためのネットワーク形成、国際観光客関連最新情報・ノウハウなどの提供

< 登録施設の分類 >

オーセンティック旅館（国際伝統旅館）

- ・ 全客室の2分の1以上は和室であること
- ・ 水洗トイレであること（全部または一部が洋式トイレであること）
- ・ 温泉法第2条の規定を満たす浴場を有すること
- ・ 必要最低限度の英語による対応が可能であること

フレンドリーイン（国際イン）

- ・ 客室は個室で鍵がかかること
- ・ 水洗トイレであること（全部または一部が洋式トイレであること）
- ・ 浴室が男女別であり、シャワー設備があること
- ・ 必要最低限度の英語による対応が可能であること

フレンドリーレストラン（国際レストラン）

- ・ 水洗トイレであること（全部または一部が洋式トイレであること）
- ・ 必要最低限度の英語による対応が可能であること

< 登録施設への研修 >

オーセンティック旅館、フレンドリーイン、フレンドリーレストラン、各々で必須条件を満たした旅館・民宿・ペンションなどの宿泊施設と飲食店の接客のリーダーなる方に登録研修に参加（一定数の応募が集まり次第）

研修内容

- ・ 国際ツーリズムについて（訪日客の傾向、旅行形態など）
- ・ 接客（予約、チェックイン・チェックアウト、食事・飲み物、入浴、外国語対応など）
- ・ 施設（多言語表示、ピクトグラフ[絵文字]、館内設備案内など）
- ・ 国際観光客に対する魅力作り
（観光客とのふれあい・交流・地域の祭り・イベントとの連携・周辺のツーリズム情報の提供など）
- ・ 緊急時（けが・病気等）における病院・消防などへの連絡体制